

とくに守るべき情報セキュリティ5カ条

1. 必要のない資料は持ち出さない

図面を電車の網棚に忘れたり、道に落としたりするような情報漏洩事故が発生しています。持ち出す資料は最小限にしましょう。また、持ち出したものは体から離さず、忘れたり落したりしないよう注意しましょう。

2. パスワードを設定する

現場の詰所からパソコンや iPad・スマートフォンを盗まれる事件が発生しています。また飲食店の駐車場で車上荒らしにあったケースもあります。

これらの情報機器はできるだけ肌身離さず持ち歩くようにし、保管する時は施錠などの防犯対策を確実に行うようにしましょう。また、万が一の盗難に備え、パソコンや iPad・スマートフォンにはログイン・パスワードを設定しましょう。

3. ネットに書き込まない

自分が担当している工事を「知人に自慢しよう」と、軽い気持ちで工事写真をツイッターへ投稿したところ、工事発注者を巻き込んだ大きな問題に発展したというケースがありました。このように関係者しか知らない情報を SNS やブログに掲載すると、思わぬトラブルに発展する危険があります。

4. 正しい方法で廃棄する

図面をゴミ箱にそのまま捨てると、それは情報漏洩事故となります。図面などの工事資料を廃棄するときはシュレッダー等で細断するか、あるいは指定の場所へ返却するなど、現場の指示に従って正しく処分してください。

5. 情報漏洩はすぐに報告

工事データの入っているパソコンや iPad 等を盗まれたり、図面の入っているカバンを紛失するなど、情報漏洩の可能性があるトラブルが発生した場合は、すぐに橋本組まで連絡してください。